

過疎地域持続的発展計画
地域の持続的発展のための基本目標事後評価

目 標	令和 年度					令和6年度 実績	令和6年度目標 の達成度合 (%)	要因 「何を」行った(行えな った)から目標達成できた (できなかった)。	左記を踏まえた 今後の取組み
	3	4	5	6	7				
新規就業者数(立地企業)(人)	50	50	50	50	50	18	36.0	合同企業説明会等を開催し、市内企業への就業を促し、また、ふるさとハローワークでの募集を行ったが、人材が市内に残らず市外へ流出したため、目標達成できなかった。	天草地域合同企業説明会や市内の企業説明会を実施し、学生等へ市内企業の事業内容等周知に努める。
新規就農者数(人)	2	2	2	2	2	1	50.0	新規就農相談は2名あった。うち営農実現性のある1名について、令和6年度は県等の関係機関を含めた新規就農に向けた協議を複数回行ったが、令和6年度の認定とはならなかったため、目標達成できなかった(令和7年度初頭認定)。	今後も相談対応を丁寧に行い、関係機関を含めて営農実現性の高い新規就農者の支援を行う。
新規事業所数(件)	5	5	5	5	5	3	60.0	事業承継相談等を実施していたが、相談者自体が少なかったため、目標達成できなかった。	事業承継相談会の周知を強化して行う。
新規企業立地数(件)	1	1	1	1	1	0	0.0	市外の事業者が廃業した旅館・ホテルを取得し事業を開始した一方で、長年本市で事業を行っていた企業が一社撤退することとなったため、目標達成できなかった。	企業誘致に取り組むとともに、廃業・撤退を防止するため、既存企業の支援・サポートをこれまで以上に行う。

新規移住者数（市が関与した者）（人）	58	62	66	70	74	63	90.0	移住相談件数は令和2年度～令和6年度で207→299→208→251→221で推移したが、移住者数は72→74→32→35→63であり復調傾向にある。空き家の掘り起こしを重点的にを行い、空き家バンク物件登録件数が伸びたことから、移住相談ならびに移住者数が伸びたが、目標達成できなかった。	空家等管理活用支援法人と連携し、空き家所有者の相談体制を構築する。また、ワーケーションや釣りなど、特定のテーマに絞った情報発信や、仕事を通じた移住体験などの施策を行うことで、交流人口・関係人口を拡大し、将来的な移住につなげていく。
地域おこし協力隊員新規導入数（人）	2	2	2	3	3	3	100.0	募集に当たっては、地域おこし協力隊として活動したいと思ってもらえるよう、市（地域）の魅力や課題を踏まえた特色ある活動内容としたため、目標達成できた。	これまでの取組を継続する。
超高速ブロードバンドの新規加入世帯数（世帯）	400	400	400	400	400	63	15.8	ブロードバンド未整備地域の整備を完了し、市内の世帯カバー率は100%に達したが、目標達成できなかった。	インターネットを活用できる環境は整っているため、民間事業者による新規加入者の獲得を期待する。
新規電子申請可能業務数（件）	0	26	2	2	1	1	50.0	令和6年度に限定すると達成できなかったが、令和3年度から令和7年度までの件数は既に達成済み。	上天草版DX推進計画に基づき電子申請可能業務（オンライン化する対象手続）を整理し、行政手続のオンライン化を推進していく。
AI・RPAを活用した新規業務数（件）	5	10	10	10	10	0	0.0	AI-OCR・RPAの導入事例を全庁的に広げるため、職員向け研修会を行ったが、目標達成できなかった。	課長向け研修を行い、課長が主体となってAI-OCR・RPA等を活用した業務効率化を進めていく。

市民向けメディアリテラシー講習会の開催回数（回）	0	1	1	1	1	23	2300.0	通信事業者との連携に加え、従来の講座メニュー等を見直し（対象者拡充、講座内容追加、周知）行動したため、目標達成できた。	従来の講座に加え、セキュリティの重要性や特殊詐欺の被害にあわないためのメニューを追加し、便利で快適なデジタル化を推進していく。
待機児童数（人）	0	0	0	0	0	0	100.0	市ホームページ及び市広報にて各施設についての案内を行ったため、目標達成できた。	これまでの取組を継続する。
放課後児童クラブ等数（件）	10	10	10	10	10	11	110.0	各クラブと連携を取り、持続的な活動及び質向上に努めたため、目標達成できた。	これまでの取組を継続する。
特定健診の実施率（％）	50	55	60	60	60	35.3	58.8	未受診者に対する対応として、専任看護師を配置し、電話連絡による受診勧奨を行った。また、市内医療機関を訪問し、医師へ協力依頼を行った。その結果、受診率が前年から微増したものの、目標達成できなかった。	他市町村の取組状況を参考に外部委託による受診勧奨を検討する。
住みやすいと思う市民の割合（％）	63.0	63.5	64.0	64.5	65.0	50.6	78.4	・目標数値には達していないが、同問の更問「住みにくいと思う理由（3つまで選択）」の「福祉分野のサービスや施設が不十分」と答えた市民の割合は、令和4年度3.7%（6人）、令和5年度5.5%（13人）、令和6年度3.6%と構成比6%未満を維持しており、「第4期上天草市地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づく小地域ネットワーク等（設置率94.3%）による地域福祉活動の取組みによるものと考えられる。 ・医師不足による休診があったため。	・「第4期上天草市地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づき、小地域ネットワーク等をはじめとした地域福祉活動各種事業を引き続き取り組む。 ・医師確保に向けて対策を講じていく。

巡回診療など過疎地域の診療を支援する取組の実施状況（回）	200	200	200	200	200	212	106.0	予定通りの診療計画に沿って実施することができたため、目標達成できた。	今後も継続して実施する。
地域医療に対する住民満足度（％）	42	45	45	46	47	68	147.8	患者に寄り添った医療提供体制を確保することができたため、目標達成できた。	今後も継続して実施する。
小中学校数（校）	17	17	15	15	11	15	100.0	2地区において小学校の統合について調整をしているが、令和6年度は現状維持。	第2期公立学校規模適正化計画に基づき、今後も小学校の統合に向け調整していく。
まちづくり事業推進助成金申請件数（件）	1	2	3	3	3	1	33.3	事業募集については、説明会、行政区での班回覧、市ホームページへの掲載及び防災行政無線での周知を行ったが、目標達成できなかった。	引き続き、事業の周知及び助成制度の内容の見直しを検討していく。
農道橋保全対策計画の進捗率（％）	100	—	—	—	—				
汚水処理人口普及率（％）	58.5	60.0	61.5	63.0	64.5	61.4	97.5	令和6年度は合併処理浄化槽の設置基数が予定より少なかったため、目標達成できなかった。	今後は、浄化槽設置助成事業の周知を行うとともに、下水道加入促進及び浄化槽設置基数の増加を図り、汚水処理人口普及率の向上を目指す。
住宅用省エネルギー設備設置費補助金実績数（件）	20	20	20	20	20	14	70.0	予算枠いっぱい補助を実施したが、蓄電池（上限10万円）の設置補助申請が多かったため、目標達成できなかった。 ○件数（予定→実績） ・太陽光（4→5） ・蓄電池（11→13） ・HEMS（10→0） ※太陽光、蓄電池を合わせた申請4件	今後も引き続き、省エネ及び太陽光発電設備等の導入を推進し、実質CO2排出量ゼロ達成に向け取り組んでいく。

目 標	令和5年度	令和6年度
令和7年度末の総人口 23,688人	23,995 人	23,279 人
財政力指数の維持（平成24年度以降0.25で推移）	0.25	0.25